

平成23年7月25日

(社)軽金属学会北海道支部
北海道アルミニウム利用技術研究会 会員各位

(社)軽金属学会北海道支部支部長
北海道アルミニウム利用技術研究会
事務局 高橋英徳
北海道立総合研究機構工業試験場

アルミニウム技術講演会のご案内

拝啓 盛夏の候 皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、これまでに概略をご案内しておりましたが、このたび北海道アルミニウム利用技術研究会の本年度第1回目の講演会と致しまして、アルミニウム溶接をテーマとする2件の講演会を下記のとおり開催することとなりました。

近年、北海道には自動車関連部品の製造工場が集積しており、アルミニウム利用技術の向上が求められております。今回は、北見工大において長年取り組まれているアルミニウムと異種金属の接合および釧路地区において技術蓄積のある船舶関係についての講演で、どちらも大変興味深い内容です。本講演により技術力向上の一助となれば幸いですので、北海道アルミニウム利用技術研究会会員のみならず、本講演に興味を持つ多くの皆様のご出席をよろしくお願い申し上げます。

敬 具

記

以上

開催日時；平成23年8月18日(木) 14時30分～17時(質疑応答を含む)

開催会場；釧路工業技術センター2階会議室

(〒084-0905 釧路市鳥取南7丁目2-23 電話；(0154)55-5121 代表)

参加費 : 無料

主催 : 北海道立総合研究機構産業技術本部ものづくり支援センター、工業試験場

共催 : 釧路工業技術センター、(社)軽金属学会北海道支部

演題1「アルミニウム系材料の溶接・接合」 14時45分～15時45分(質疑応答を含む)

講師 北見工業大学 機械工学科 教授 富士 明良 氏

概要

軽金属の代表であるアルミニウムとその合金は、環境問題の高まりから、21世紀においてその重要性がさらに増している。本講演では、(1)アルミニウム系材料の簡単な基礎、(2)アルミニウム系材料同士の接合の基礎と課題、(3)アルミニウム系材料と異種金属との接合の基礎と課題、(4)摩擦攪拌接合(FSW)の基礎について述べる予定である。

演題2「アルミ合金材の溶接構造物(船舶と応用例)」16時00分～17時00分(質疑応答を含む)

講師 運上船舶工業有取締役社長(有)マリン総合 取締役専務 運上 賢逸氏

当該企業では、20t未満の漁船を中心に、アルミ合金製の船舶建造をしている。3～25mmまでのアルミ板を切断し、三次元的加工した各部材を組み上げ、全溶接により建造する。本講演では、船舶建造を通して、溶接・加工・異種接合・腐食・応用例とアルミ合金の特性を活かした物作りと、製品開発事例を紹介する。

参加の可否を別紙の申込票にご記入の上、FAXまたはE-mailにて(どちらか一方で結構です)8/12(金)までに事務担当者までご連絡ください。

講演会参加申込票

連絡先；

札幌市北区北19条西11丁目

北海道立総合研究機構工業試験場 高橋英徳 宛

電話；011-747-2973 F A X；011-726-4057

E-mail；takahashi-hidenori@hro.or.jp

以下の者の参加を申し込みます。(締め切り 8/12(金))

講演会

開催日時；平成23年8月18日(木) 14時30分～17時(質疑応答を含む)

開催会場；釧路工業技術センター2階会議室

(〒084-0905 釧路市鳥取南7丁目2-23 電話；(0154)55-5121 代表)

参加費：無料

演題1「アルミニウム系材料の溶接・接合」 14時45分～15時45分(質疑応答を含む)

講師 北見工業大学 機械工学科 教授 富士 明良 氏

演題2「アルミ合金材の溶接構造物(船舶と応用例)」16時00分～17時00分(質疑応答を含む)

講師 運上船舶工業(有)取締役社長(有)マリン総合 取締役専務 運上 賢逸 氏

会社名 団体名	連絡担当者； お名前 E-メール		電話 ()
参 加 者			
名 前		所属または役職	

会社名・団体名の「連絡担当者」には、こちらから連絡する際のご担当者のお名前、電話番号、E-メールアドレスをお書きください。